

火 災





## 火災の状況

平成29年中の火災件数は137件で、前年と比較すると15件増加しています。火災による死者は6人(前年5人)、負傷者は31人(前年19人)となっています。また、火災による損害額は7,898万6千円で、前年と比較すると3,297万1千円減少しています。

(各年中) (▲減少)

区分	単位	平成29年		平成28年		増減 (A-B) C
		A	爆発	B	爆発	
火災件数	合計*1	137	1	122		15
	建物火災 (住宅火災)	88 (48)	1 (1)	87 (60)		1 (▲12)
	林野火災	2		1		1
	車両火災	14		8		6
	自動車					
	鉄道					0
	船舶火災			1		▲1
航空機火災					0	
その他の火災*2		33		25		8
焼損棟数	合計		120		127	▲7
	全焼		16		16	0
	半焼		4		5	▲1
	部分焼		30		38	▲8
	ぼや		70		68	2
爆発損害棟数			1			1
焼損面積	建物焼損 床面積		1,897		2,077	▲180
	〃 表面積		574		573	1
	林野焼損面積		2		3	▲1
死傷者	死者 (住宅火災死者)		6 (5)		5 (4)	1 (1)
	負傷者		31		19	12
り災世帯	合計		81		89	▲8
	全損		12		12	0
	半損		4		6	▲2
	小損		65		71	▲6
り災人員	人		158		200	▲42
損害額	合計		78,986		111,957	▲32,971
	建物		70,155		105,737	▲35,582
	林野					0
	車両		7,186		1,514	5,672
	自動車					
	鉄道					0
	船舶				301	▲301
	航空機					0
その他		1,580		4,405	▲2,825	
爆発		65			65	
出火率*3	件		2.67		2.37	0.30

(注) \*1 火災件数中の爆発件数は内数です。

\*2 その他の火災とは、田畑や河川敷の枯草、屋外に放置された物件等が燃えた火災をいいます。

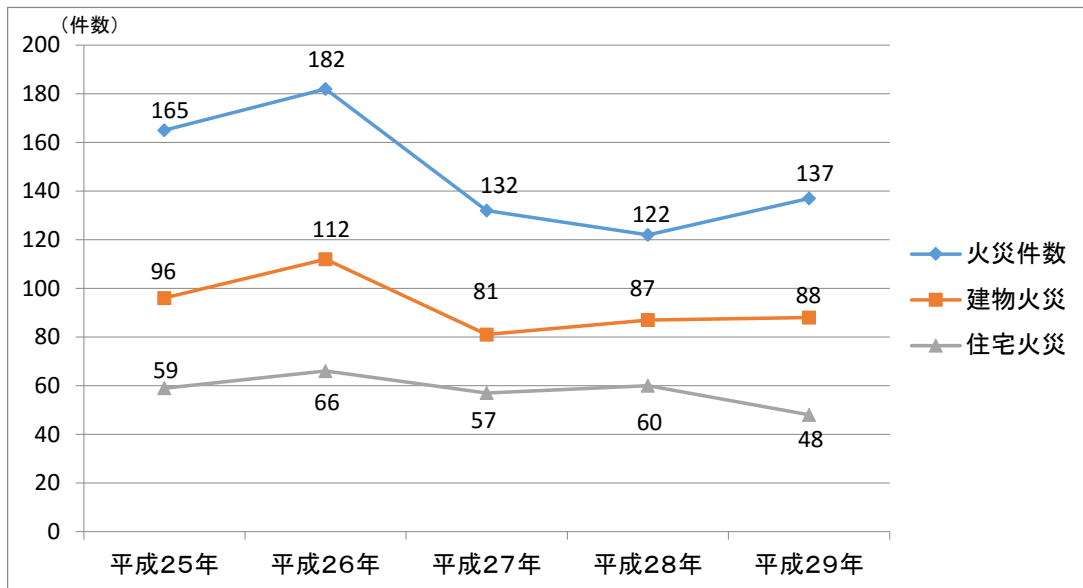
\*3 出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいいます。

# 1 火災件数

## (1) 火災件数の推移

火災件数は過去5年間で3番目に少ない137件となっています。  
 また、住宅火災は過去5年間で最少となっており、前年と比較すると12件減少しています。

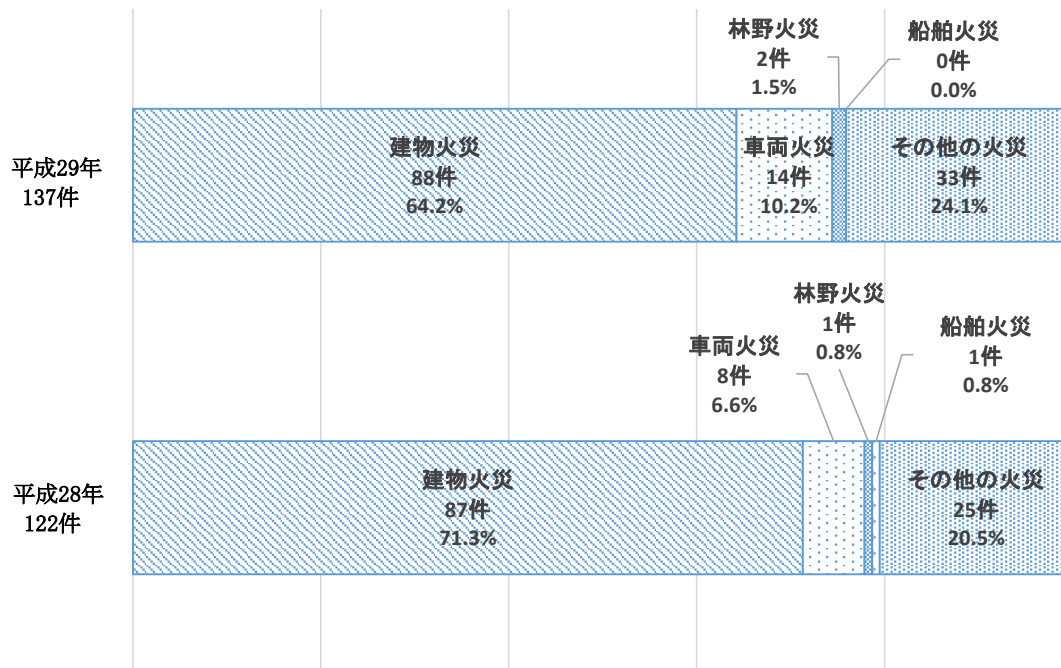
(各年中)



## (2) 火災種別の構成割合

火災種別ごとの割合をみると、建物火災が全火災の64.2% (88件) を占めており、次いで、その他の火災24.1% (33件)、車両火災10.2% (14件)、林野火災1.5% (2件) となっています。

(各年中)



(注) 構成比は、合計しても100%にならない場合があります。

## (3) 建物用途別件数

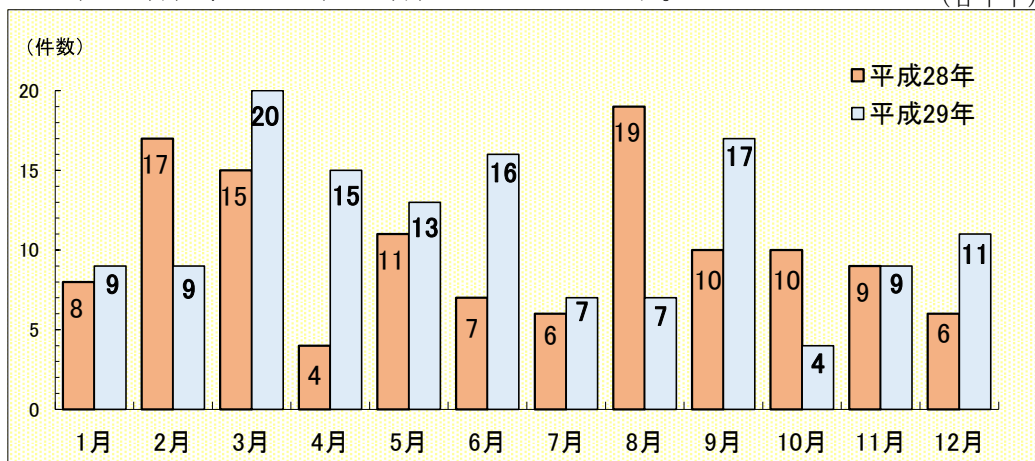
建物火災を用途別にみると、住宅（共同住宅・併用住宅を含む）の火災が48件と最も多く、建物火災全体の54.5%を占めています。

(各年中)

用途	年別				
	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年
専用住宅	30	38	32	45	36
共同住宅	18	22	24	21	21
併用住宅			1		2
小計	48	60	57	66	59
劇場等					
公会堂等				1	
キャバレー等					
遊技場等					1
性風俗施設					
カラオケボックス等					
料理店等					
飲食店	2	3	2	8	4
物品販売店舗等		2	2	3	1
旅館・ホテル等	2	1		2	
病院等				1	1
グループホーム等					
社会福祉施設等					
幼稚園等					
学校	1	1			2
図書館等					
特殊浴場					
公衆浴場				1	
停車場等					
神社・寺院等		2		1	2
工場・作業場	2	5	4	7	8
スタジオ					
駐車場等				2	
航空機格納庫					
倉庫	3	2	1		2
事務所等	8		4	5	5
特定複合用途	10	5	4	5	4
非特定複合用途	4	1	2	6	5
地下街					
準地下街					
文化財					
その他	8	5	5	4	2
小計	40	27	24	46	37
合計	88	87	81	112	96

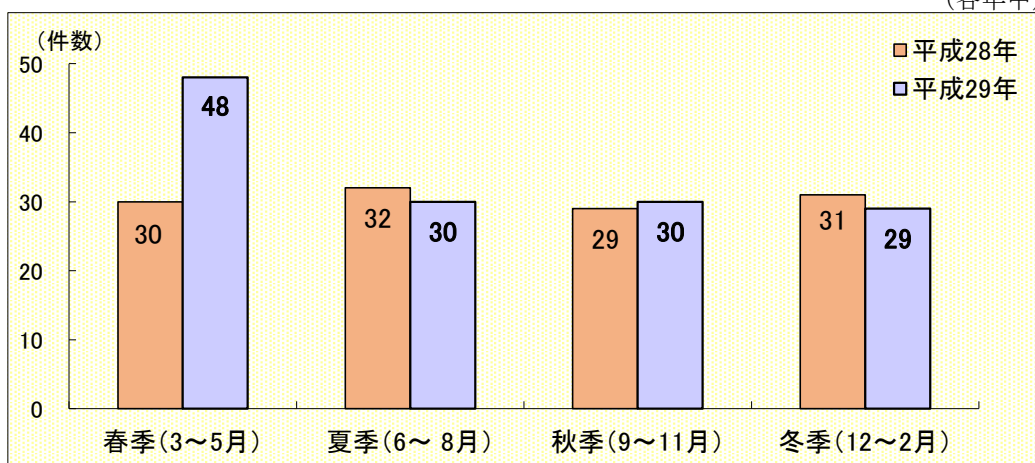
(4) 月別件数

火災件数を月別にみると、3月が20件で最も多く、次いで9月(17件)、6月(16件)となっています。(各年中)



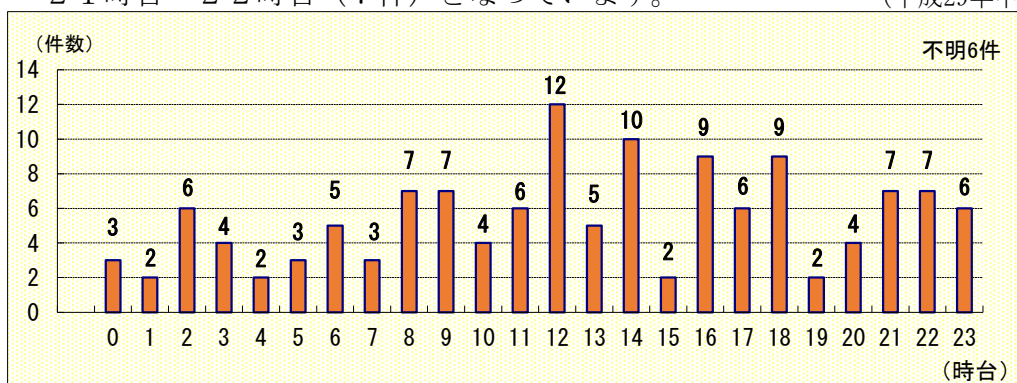
(5) 四季別件数

火災件数を四季別にみると、春季が48件(35.0%)で最も多く、次いで夏季・秋季が30件(21.9%)となっています。(各年中)



(6) 時間帯別件数

火災件数を時間帯別にみると、12時台が12件で最も多く、次いで14時台(10件)、16時台・18時台(9件)、8時台・9時台・21時台・22時台(7件)となっています。(平成29年中)

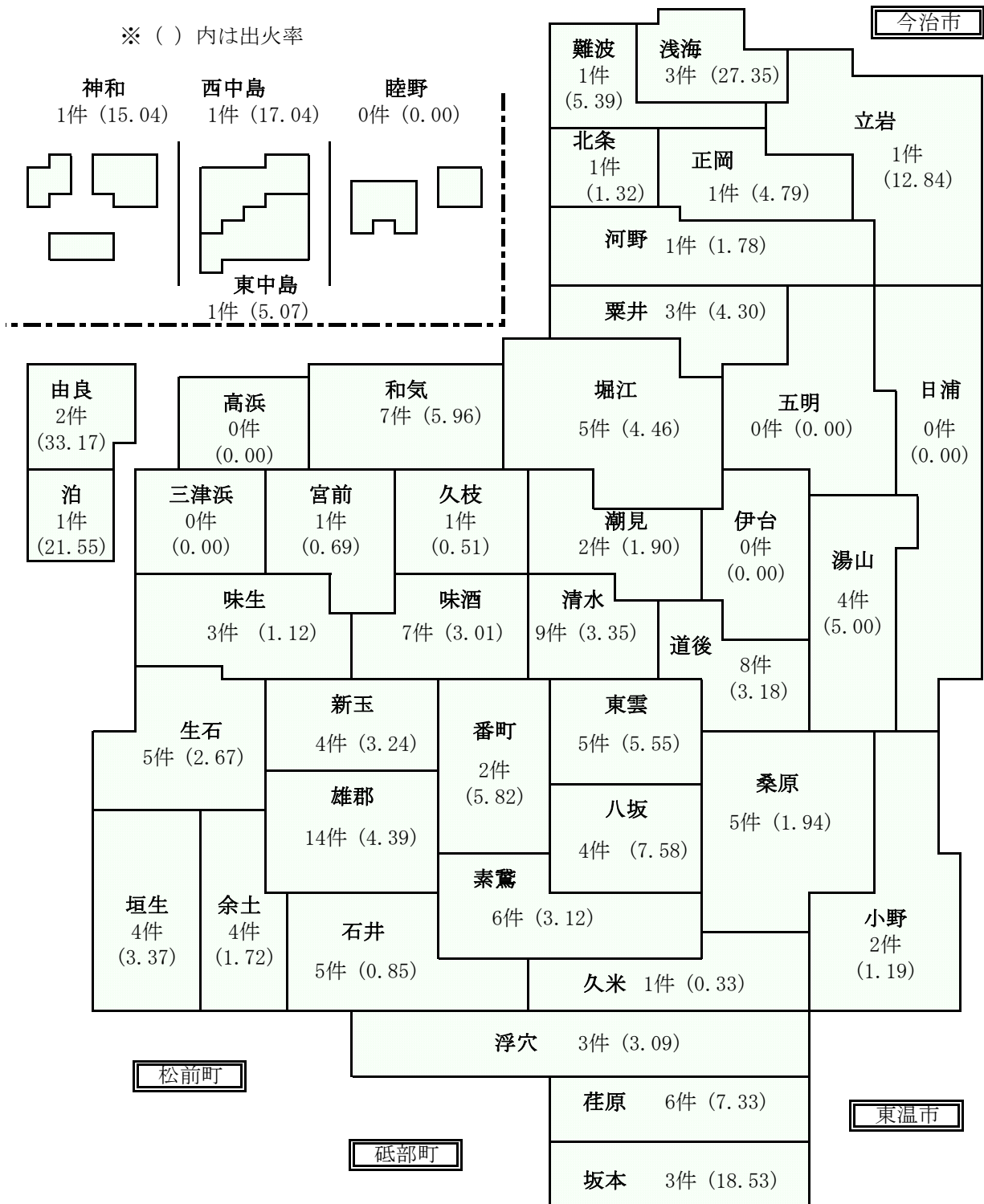


(7) 地区別の件数と出火率

火災件数を地区別にみると、雄郡が14件（前年5件）で最も多く、次いで清水9件（前年5件）、道後8件（前年6件）、味酒7件（前年7件）、和気7件（前年3件）となっています。

出火率を地区別にみると、由良が33.17で最も多く、次いで浅海が27.35、泊が21.55、坂本が18.53、西中島が17.04となっています。

※出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいいます。



## (8) 地区別件数の推移

(各年中)

	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年
番町	2	5	8	5	6
東雲	5	3	6	7	7
八坂	4	0	0	5	3
素鷲	6	4	2	12	6
雄郡	14	5	9	12	19
新玉	4	0	6	9	1
味酒	7	7	4	9	6
清水	9	5	7	5	6
桑原	5	6	2	5	9
道後	8	6	13	6	6
味生	3	5	4	12	8
生石	5	5	6	5	5
垣生	4	2	4	2	3
宮前	1	1	1	3	2
三津浜	0	1	1	2	3
高浜	0	1	3	2	0
久枝	1	4	0	4	4
潮見	2	5	2	4	5
和気	7	3	6	5	1
堀江	5	1	5	3	2
余土	4	6	0	6	3
由良	2	2	0	2	3
泊	1	0	1	0	0
久米	1	5	2	12	3
湯山	4	3	3	3	7
日浦	0	0	2	0	2
伊台	0	2	1	1	3
五明	0	0	1	1	0
小野	2	1	3	2	3
浮穴	3	2	3	2	7
石井	5	12	7	19	9
荏原	6	4	1	3	8
坂本	3	1	1	0	0
浅海	3	2	4	2	4
立岩	1	2	0	1	0
難波	1	2	1	3	0
正岡	1	1	0	0	4
北条	1	2	5	0	4
河野	1	2	3	2	2
粟井	3	2	1	5	1
陸野	0	0	1	1	0
東中島	1	1	2	0	0
西中島	1	0	0	0	0
神和	1	1	1	0	0
合計	137	122	132	182	165

※松山市基準地区（44地区）



## 2 出火原因

全火災137件を出火原因別にみると、「こんろ」が17件で最も多く、次いで「たき火」15件、「たばこ」14件、「放火」14件となっています。

また、「放火」と「放火の疑い」をあわせた「放火火災」は24件で、全体の17.5%を占めています。

(各年中) (▲減少)

出火原因	平成29年	平成28年	増減
こ ん ろ	17	14	3
た き 火	15	9	6
た ば こ	14	17	▲ 3
放 火	14	14	0
放 火 の 疑 い	10	10	0
火 あ そ び	8	2	6
電灯・電話等の配線	5	6	▲ 1
電 気 機 器	4	1	3
ス ト ー ブ	4	1	3
マッチ・ライター	3	3	0
配 線 器 具	3	1	2
排 気 管	2	2	0
風 呂 か ま ど	2	1	1
灯 火	1	4	▲ 3
溶接機・切断機	1	0	1
焼 却 炉	1	0	1
内 燃 機 関	1	0	1
煙 突 ・ 煙 道	0	2	▲ 2
こ た つ	0	1	▲ 1
電 気 装 置	0	1	▲ 1
取 灰	0	1	▲ 1
そ の 他 *	15	21	▲ 6
不 明 ・ 調 査 中	17	11	6
合 計	137	122	15

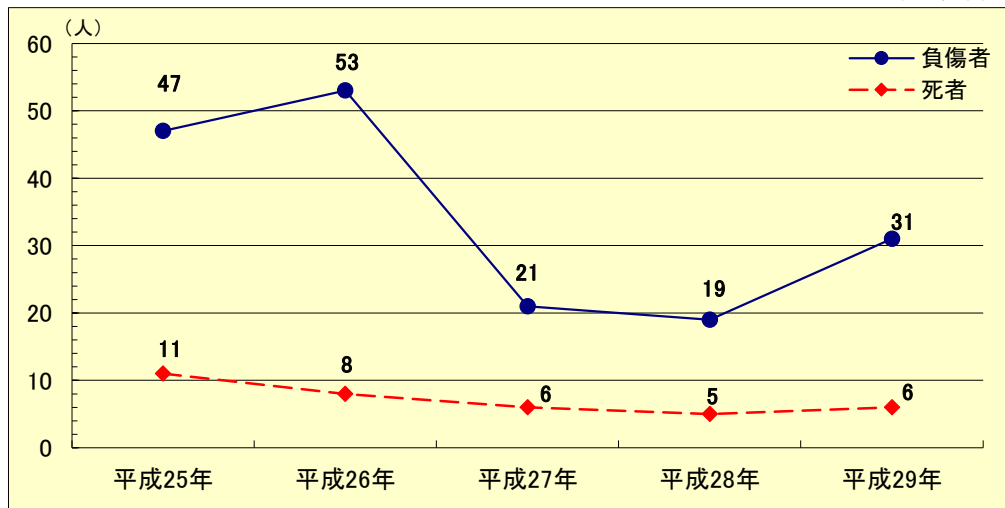
\*出火原因の「その他」とは練炭、グラインダーの火花、線香などがあります。

### 3 死傷者

#### (1) 死傷者数の推移

火災による死者数は6人で、前年（5人）と比較すると1人増加しています。また、負傷者数は31人で、前年（19人）と比較すると12人増加しています。

(各年中)



#### (2) 死者の状況

死者を火災種別及び年齢層別で見ると、次表のとおりとなっています。  
(各年中)

火災種別	平成29年	平成28年
建物火災	5人	4人
車両火災	0人	0人
林野火災	0人	0人
船舶火災	0人	0人
航空機火災	0人	0人
その他の火災	1人	1人
合計	6人	5人

年齢層別	平成29年	平成28年
5歳以下	0人	0人
6歳～64歳以下	1人	3人
65歳以上	5人	2人
合計	6人	5人

#### (3) 負傷者の状況

負傷者を火災種別及び区分で見ると、次表のとおりとなっています。

(各年中)

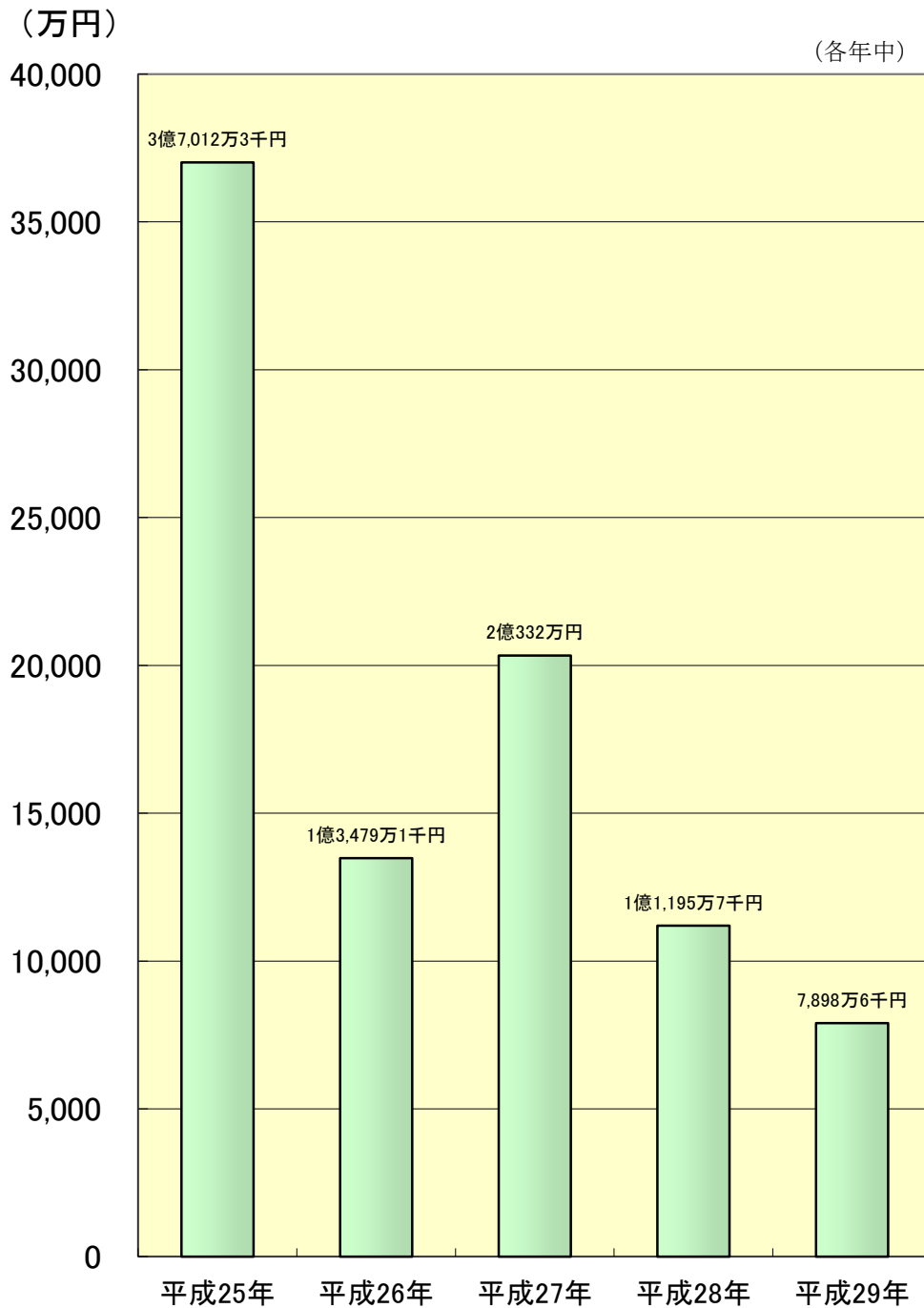
火災種別	平成29年	平成28年
建物火災	29人	17人
車両火災	0人	2人
林野火災	0人	0人
船舶火災	0人	0人
航空機火災	0人	0人
その他の火災	2人	0人
合計	31人	19人

(各年中)

区分	平成29年	平成28年
応急消火義務者	25人	16人
消防協力者	1人	0人
消防吏員	2人	0人
消防団員	2人	0人
その他の者（自損を含む）	1人	3人
合計	31人	19人

#### 4 損害額

火災による損害額は、7,898万6千円で、前年(1億1,195万7千円)と比較すると3,297万1千円減少しており、過去5年間で最も少ない額となっています。



## 5 覚知方法別火災件数

消防機関が火災を覚知した方法別にみると、携帯電話からの119番通報が59件で最も多く、次いで事後聞知（火災鎮火後に覚知したもの）29件となっています。（平成29年中）

覚知方法別	区分	件数	構成比 (%)
119（携帯電話から）		59	43.1%
事後聞知		29	21.2%
119（固定電話から）		18	13.1%
119（IP電話等から）		17	12.4%
警察電話		10	7.3%
自己覚知		4	2.9%
加入（固定電話から）		0	0.0%
駆付け		0	0.0%
合計		137	100%

（注）構成比は、合計しても100%にならない場合があります。

## 6 初期消火の状況

初期消火の状況をみると、初期消火が実施されたのは87件で、そのうち64件が初期消火に成功し火災鎮圧に効果がありました。

使用された初期消火器具等をみると、水道・浴槽等の水が49件で最も多く、次いで粉末消火器が25件となっています。（平成29年中）

火災件数	137
初期消火実施	87 (63.5%)
初期消火なし	50 (36.5%)

初期消火使用器具等	実施件数（成功件数）	実施比率（成功率）
水道・浴槽等の水	49 (35)	56.3% (71.4%)
粉末消火器	25 (19)	28.7% (76.0%)
もみ消す	5 (2)	5.7% (40.0%)
寝具・衣類	1 (1)	1.1% (100.0%)
屋外消火栓設備	1 (1)	1.1% (100.0%)
その他	6 (6)	6.9% (100.0%)
合計	87 (64)	100% (73.6%)

（注）実施比率は、合計しても100%にならない場合があります。

## 7 署所別の火災状況

(平成29年中)

署 別	区 分	件 数	死 者	負傷者	建物焼損	建物焼損	林野焼損	損 害 額
		(件)	(人)	(人)	床面積(m <sup>2</sup> )	表面積(m <sup>2</sup> )	面積(a)	(千 円)
		<b>61</b>	<b>1</b>	<b>12</b>	<b>309</b>	<b>257</b>	<b>1</b>	<b>13,303</b>
中央署	本 署	35	1	9	280	255	0	10,024
	城 北	15	0	3	10	2	1	1,001
	北 条	11	0	0	19	0	0	2,278
		<b>28</b>	<b>1</b>	<b>14</b>	<b>668</b>	<b>127</b>	<b>0</b>	<b>27,460</b>
東 署	本 署	17	0	10	492	68	0	17,979
	城 東	11	1	4	176	59	0	9,481
		<b>25</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>238</b>	<b>83</b>	<b>0</b>	<b>6,069</b>
南 署	本 署	23	3	1	211	83	0	5,464
	東 部	2	0	1	27	0	0	605
		<b>23</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>682</b>	<b>107</b>	<b>1</b>	<b>32,154</b>
西 署	本 署	14	1	3	681	103	1	27,227
	西 部	9	0	0	1	4	0	4,927
合 計		<b>137</b>	<b>6</b>	<b>31</b>	<b>1,897</b>	<b>574</b>	<b>2</b>	<b>78,986</b>

## 8 1ヶ月当たりの火災状況

(各年中) (▲減少)

区 分		単 位	平成29年	平成28年	増 減
全火災 1ヶ月当たり	火災件数	件	11.4	10.2	1.2
	損害額	千円	6,582	9,330	▲ 2,748
	焼損棟数	棟	10.0	10.6	▲ 0.6
	建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	158.1	173.1	▲ 15.0
	建物焼損表面積	m <sup>2</sup>	47.8	47.8	0.0
	り災世帯数	世帯	6.8	7.4	▲ 0.6
	り災人員	人	13.2	16.7	▲ 3.5
	死 者	人	0.5	0.4	0.1
	負 傷 者	人	2.6	1.6	1.0

## 9 住宅用火災警報器の奏功事例

### 【事例1】 異状に気付いた近隣住民が発見・通報した事例

早朝、マンション内の近隣住民が住宅用火災警報器の警報音が鳴っていることに気が付いた。すぐに呼び鈴を鳴らしたり、ドアをたたいたりしたものの警報音以外に異状がなかったため、一度自室に戻るも、警報音が鳴り続けていたことが気になり、再度様子を見に行った時に発煙・爆発音を確認し、すぐに119番通報した。

居住者は、不在であった。

### 【事例2】 訪問者が発見し、通報・避難誘導を行った事例

メンテナンスに訪問した業者が、住宅用火災警報器の警報音と煙に気付き、すぐに呼び鈴を鳴らしたり、玄関を開けようとしたものの返事がないため、119番通報した。

また、通報後はその場に居合わせた方と協力し、付近住民への声掛けを行い、早急な避難誘導を行った。

居住者は、不在であった。

### 【事例3】 早期発見・通報・初期消火につながった事例

台所で油を入れた鍋を火にかけ、油が温まるまで寝室でテレビを見ていた時に寝室の住宅用火災警報器が鳴り、台所の鍋から白い煙があがっていることに気が付いた。

その後、炎があがったため119番通報し、通報時に教わった濡れた布で鍋を覆う消火方法で消火に成功した。

**住宅用火災警報器は、火災を早期に発見することで、「初期消火」「避難」「119番通報」をいち早く実施することができ、被害の軽減に役立ちます。**

**日頃から、火気の取り扱いには十分注意し、火災予防を心がけましょう。**

**住宅用火災警報器の設置場所などの詳しい情報は、松山市ホームページの「住宅用火災警報器」をご参照ください。**

**<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/bosai/sbbousai/sbkasaiyobo/juukeiki.ht>**

10 四国各県都の火災状況

(平成29年中)

区分	単位	高松市	高知市	徳島市	松山市
火災件数	件	151	100	67	137
損害額	千円	198,102	68,171	69,372	78,986
建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	3,610	1,090	1,291	1,897
建物焼損表面積	m <sup>2</sup>	302	297	530	574
林野焼損面積	a	95	1,713	21	2
死者	人	7	2	4	6
負傷者	人	20	19	6	31
出火率	件	3.1	3.0	2.6	2.7

(注) 出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいう。

# 1 1 昭和44年以降の火災の概況

(各年中)

年	松山市						愛媛県						国			
	件数	損害額 (千円)	死者	負傷者	出火率	件数	損害額 (万円)	死者	負傷者	出火率	件数	損害額 (百万円)	死者	負傷者	出火率	
昭和44	225	74,940	2	56	7.1	806	72,757	25	158	5.7	56,797	70,172	1,334	9,302	5.5	
45	225	263,638	6	45	6.9	847	97,715	25	123	6.0	63,905	83,387	1,595	9,725	6.2	
46	214	145,561	7	27	6.5	812	89,248	30	134	5.7	64,019	78,570	1,483	9,208	6.0	
47	164	183,032	3	20	4.8	678	84,840	29	130	4.8	58,291	84,106	1,672	9,692	5.5	
48	162	208,645	5	35	4.6	785	115,613	32	121	5.5	73,072	113,796	1,870	9,789	6.8	
49	164	400,990	7	28	4.6	774	178,302	22	98	5.5	67,712	112,306	1,646	9,070	6.2	
50	161	352,732	3	15	4.4	667	157,340	45	105	4.6	62,212	110,148	1,674	8,232	5.6	
51	167	289,729	7	22	4.5	700	129,610	23	88	4.8	62,304	160,954	1,648	9,365	5.6	
52	190	303,622	4	25	5.0	790	150,836	30	109	5.4	63,974	129,393	1,909	8,506	5.7	
53	206	515,199	12	36	5.3	821	261,510	35	123	5.6	70,423	130,539	1,854	8,718	6.2	
54	162	411,093	10	28	4.1	759	207,432	30	110	5.2	63,794	136,827	2,070	8,157	5.5	
55	103	317,568	9	24	2.6	679	155,300	28	106	4.5	59,885	150,707	1,947	8,049	5.1	
56	78	260,672	3	24	1.9	598	127,922	32	91	4.0	60,788	150,303	1,971	8,004	5.2	
57	104	255,257	7	25	2.5	705	127,942	32	128	4.7	60,568	149,073	1,849	8,112	5.1	
58	112	501,620	11	25	2.7	713	175,112	42	110	4.7	59,740	150,579	1,828	7,407	5.0	
59	121	567,165	18	37	2.9	777	194,977	48	128	5.1	63,789	146,210	2,089	7,858	5.3	
60	122	284,036	7	36	2.9	666	218,084	23	134	4.3	59,865	154,927	1,747	7,550	5.0	
61	122	578,566	4	16	2.8	759	164,207	29	96	4.9	63,272	149,766	2,061	7,731	5.2	
62	140	387,216	7	26	3.2	638	150,882	28	88	4.1	58,833	146,154	1,857	7,681	4.8	
63	158	337,748	14	32	3.6	734	186,388	36	105	4.8	59,674	144,021	2,116	7,703	4.9	
平成元	159	336,498	9	23	3.6	659	142,996	34	91	4.3	55,763	140,494	1,747	7,292	4.6	
2	167	350,630	4	34	3.8	649	157,028	38	89	4.2	56,505	148,458	1,828	7,097	4.6	
3	161	333,056	4	19	3.6	608	162,035	31	93	4.0	54,879	161,420	1,817	6,948	4.5	
4	163	344,655	8	27	3.6	621	186,686	36	92	4.1	54,762	156,874	1,882	6,896	4.4	
5	162	313,665	12	24	3.6	611	269,190	32	78	4.0	56,700	163,494	1,841	6,895	4.6	



年	松山市					愛媛県					国				
	件数	損害額 (千円)	死者	負傷者	出火率	件数	損害額 (万円)	死者	負傷者	出火率	件数	損害額 (百万円)	死者	負傷者	出火率
平成6	245	382,167	5	24	5.4	792	175,761	27	95	5.2	63,015	172,692	1,898	7,007	5.1
7	201	452,919	7	23	4.4	755	241,432	27	103	4.9	62,913	193,759	2,356	7,279	5.0
8	190	247,423	7	19	4.1	708	144,769	31	106	4.6	64,066	171,300	1,978	8,044	5.1
9	173	303,016	6	27	3.7	659	165,553	29	91	4.3	61,889	176,855	2,095	7,618	4.9
10	173	669,429	6	23	3.7	565	176,878	26	79	3.7	54,514	146,049	2,062	7,309	4.3
11	164	476,070	5	23	3.5	656	154,766	38	82	4.3	58,526	151,159	2,122	7,576	4.7
12	190	368,247	6	34	4.0	626	151,579	27	92	4.1	62,454	150,426	2,034	8,281	5.0
13	180	248,705	5	28	3.8	661	159,352	26	92	4.4	63,591	147,355	2,195	8,244	5.0
14	213	252,258	8	36	4.5	775	140,402	34	121	5.1	63,651	167,373	2,235	8,786	5.0
15	179	263,319	5	30	3.7	626	108,697	38	100	4.2	56,333	133,099	2,248	8,605	4.4
16	185	367,143	10	34	3.9	627	148,222	33	121	4.2	60,387	135,327	2,004	8,641	4.8
17	212	340,749	13	36	4.2	653	268,497	39	102	4.4	57,487	157,576	2,197	8,854	4.5
18	189	232,048	2	31	3.7	579	121,771	30	77	3.9	53,276	114,229	2,067	8,541	4.2
19	233	266,549	6	31	4.5	619	98,283	39	83	4.2	54,579	125,440	2,001	8,471	4.3
20	214	235,469	7	33	4.2	582	107,256	32	101	4.0	52,394	108,681	1,967	7,979	4.1
21	185	200,387	8	28	3.6	573	86,682	22	86	3.9	51,139	93,124	1,877	7,654	4.0
22	219	292,386	7	51	4.2	575	110,428	23	110	3.9	46,620	101,762	1,738	7,305	3.7
23	161	166,656	3	26	3.1	541	95,637	23	75	3.7	50,006	112,835	1,766	7,286	3.9
24	153	138,952	7	15	3.0	523	96,520	32	74	3.6	44,189	89,699	1,721	6,826	3.5
25	165	370,123	11	47	3.2	536	104,521	30	116	3.7	48,095	90,782	1,625	6,858	3.8
26	182	134,791	8	53	3.5	467	154,492	35	98	3.3	43,741	85,319	1,678	6,560	3.4
27	132	203,320	6	21	2.6	422	69,713	24	59	3.0	39,111	82,520	1,563	6,309	3.1
28	122	111,957	5	19	2.4	389	53,077	22	76	2.7	36,831	75,233	1,452	5,899	2.9
29	137	78,986	6	31	2.7	417	82,630	22	79	3.0	39,198	103,788	1,450	5,994	3.1

(注1) 昭和44年から火災報告取扱要領(昭和43年11月消防総発第393号)に基づき統計を行う。(注2) 平成29年愛媛県及び国の数値は概数  
(注3) 平成16年以前は旧松山市の数値

# MEMO